NEWS RELEASE

2026 年 11 月

かね七株式会社

富山県富山市水橋畠等 297

かね七が「とやま環境フェア 2026」に出展
富山湾でのブルーカーボンの取組を紹介

海の恵みを活かす食品メーカーとして
がごめ昆布の養殖支援と次世代への環境教育を発信

かね七株式会社（本社：富山県富山市、代表取締役社長：石黒 勝久）は、2026 年 10 月 24 日（土）・25 日（日）に富山産業展示館（テクノホール）東館で開催された「とやま環境フェア 2026」に出展しました。富山湾でのがごめ昆布の養殖支援や環境教育など、当社が参画するブルーカーボン事業の取組を紹介。今後も地域との連携を大切にし、海の恵みを育む環境を守る活動と、その価値を伝える環境教育・情報発信を続けてまいります。





写真左：がごめ昆布や環境保全の取組を紹介した出展ブース
写真右：ブースで当社の取組について説明する様子

出展内容 「富山で身近な昆布から海の環境を考える」

ブースでは、昆布を取り巻く環境やがごめ昆布の特徴、富山湾ブルーカーボンセミナーの活動をパネルで紹介しました。富山県では日々の食卓になじみのある昆布を入り口に、食品づくりと海の環境とのつながりを伝え、富山の水産資源や地域の未来を考えるきっかけづくりに取り組みました。

取組の背景 「食品づくりを支える海と地域を守る」

かね七は 1884 年の創業以来、煮干やかつお節、だし製品、昆布巻など、海の恵みを活かした食品づくりを続けてきました。その営みを次世代につなぐには、原料を育む海の環境と、生産を支える地域の人々を守ることが欠かせません。当社は「自然の恵みに感謝し、生かしきる」という考えのもと、富山でのがごめ昆布養殖を通じたブルーカーボンプロジェクトに参画しています。

かね七のブルーカーボン事業における 3 つの取組

1 がごめ昆布の養殖を通じた地域との連携

富山湾でのがごめ昆布養殖を支えるプロジェクトに参画し、地域の人々や漁協と協力しています。海の生態系の保護・回復と地元の雇用・経済への貢献を目指し、食品メーカーの立場から地域資源の価値を伝え、生産に関わる人々と消費者をつなぎます。

2 がごめ昆布を使った商品開発、新な特産品の創出に向けて

昆布への年間支出金額が全国 1 位の富山市において、がごめ昆布が富山の新たな特産品となるような商品を開発。がごめ昆布の粉末を用いた昔ながらの「昆布あめ」を発売しました。また、新川高校とはがごめ昆布の粘りを活かした、伸びる新感覚ソフトクリーム「生コンソフト」を共同開発。地元の学生ならではの発想を取り入れながら、がごめ昆布が新たな富山の特産物となるよう貢献しています。





写真：新発売したがごめ昆布あめ

写真右：新川高校とタイアップした「生コンアイス」

3 次世代に向けた環境教育

「富山湾ブルーカーボンセミナー」を開催し、海洋資源と地球環境のつながりを学ぶ機会を設けています。昆布や富山湾という身近な題材を通じ、子どもたちや地域の皆さまが海の未来に関心を持つきっかけを届けています。

今後の展望

今後も、がごめ昆布の養殖支援、環境教育、情報発信を継続し、地域とともに海の恵みを次世代へつなぐ活動を進めます。海の恵みをおいしく届ける食品づくりと、その恵みを育む環境を守る活動を通じて、富山の食文化と地域の未来に貢献してまいります。

ブルーカーボンとは

海草や海藻などの海洋生態系によって吸収・固定される、二酸化炭素由来の炭素を指します。海の生態系を活用した気候変動対策として注目されています。

とやま環境フェア 2026 開催概要

開催日：2026 年 10 月 24 日（土）・25 日（日） 各日 10 時～16 時
会場：富山産業展示館（テクノホール）東館（富山市友杉 1682）
主催：とやま環境フェア開催委員会
（富山県、富山市、環境とやま県民会議、公益財団法人とやま環境財団）

会社概要 お問い合わせ先

かね七株式会社　代表取締役社長：石黒 勝久
創業：1884 年　事業内容：だし製品・昆布巻などの食品製造
所在地：〒939-3521 富山県富山市水橋畠等 297
電話：076-478-1111（代表）
公式サイト：https://kane7.co.jp/